

次の100年に向けて
新時代の幕が開く

西武鉄道の特急車両「ニューレッドアロー」運行からおよそ四半世紀。
その後継車として、ついに新型特急車両「Laview（ラビュー）」が完成。
都市や自然と調和し、風景に溶け込む「いままでに見たことのない新しい車両」は
車両形式も001系へと一新し、西武鉄道の次の100年に向け走り出します。

Design Concept

1, 都市や自然の中でやわらかく風景に溶け込む特急

2, みんながくつろげるリビングのような特急

3, 新しい価値を創造し、ただの移動手段ではなく、目的地となる特急





いままでに見たことのない、
新しい車両を目指して

Exterior Design



前面ガラス

国内初となる曲線半径1500㎜の大きな三次元の曲面ガラスを採用し、やわらかな印象の先頭デザイン。曲面が全体の編成へと自然に連続するように緩いカーブのある車体断面としました。



車体カラー

都市や自然の中でやわらかく風景に溶け込むデザインを実現するため、アルミ素材の車体に塗装を施しています。写り込み具合にもひと工夫し「あたらしい風景」を作り出せる特色のある素材感を追求しました。



客室窓

お客さま一人ひとりがくつろげるリビングのような空間とするため、等間隔で連続していく窓配置としました。縦1350㎜×横1580㎜の大型窓ガラスを配置し、沿線の風景を大パノラマでお楽しみいただけます。

作ったのは、あたらしい風景






西武鉄道

Interior Design



客室

大きな窓のある明るい白い壁の室内に、あたたかな黄色配色を基調とした座席シートが並びます。いままでの特急にはない身体をやわらかくつつみ込むソファーのようなデザインとし、背丈サイズに合わせて調節できる手動式可動枕と、肘掛にはテーブルを設置。ご利用いただくお客さまそれぞれが自分の時間を持てる新しいパブリックスペースを目指しました。



照明

シンプルなボールト（曲面）天井からの間接照明により、やわらかな光あふれる照明デザインとしました。また、時間帯により、光の色を変えて、リビングにいるようなくつろぎの空間を演出します。



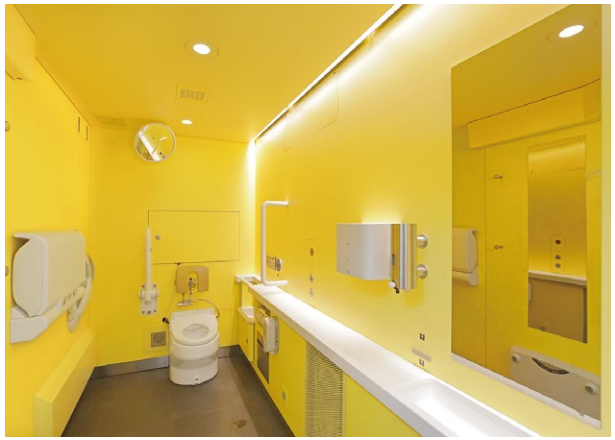
エントランス

お客さまを最初にお迎えする各エントランスも、あたたかみのある黄色配色を基調とし、床にはダークグレーの人造大理石を敷きつめ、ご乗車の際に落ち着きと高級感を与えるデザインとしました。また、一部の壁には曲面デザインを採用し、壁面に寄り掛かれる余裕のある空間となっています。

自分の時間を過ごす、やわらかな空間

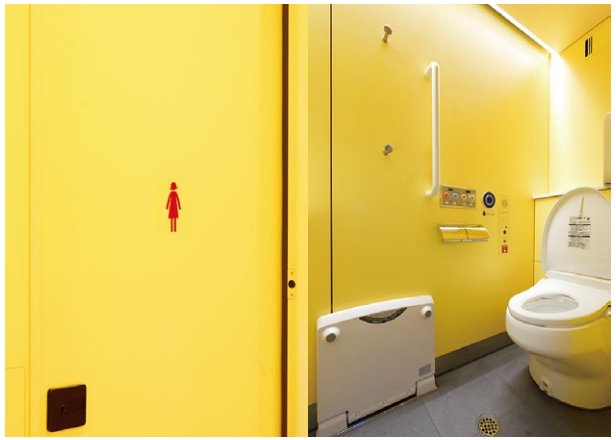


Sanitary



多目的トイレ

多目的トイレはオストメイト対応型とし、すべてのお客さまが使いやすいよう広いスペースを確保しました。また、ベビーベッドやベビーチェアも設置し、乳幼児や小さなお子さま連れでも安心してご利用いただけます。



女性専用トイレ

当社初となる女性専用トイレは、清潔で安心してお使いいただける設備を配置。お仕事帰りやレジャーなど、着替えができるようチェンジングボードや、扉の裏側には鏡（姿見）が設置されています。



パウダールーム

パウダールームは、ゆったりとご利用いただける作りとなっています。お化粧のしやすい拡大鏡や姿見、ハンドドライヤー、コンセントなどもご用意し、幅広いニーズに対応いたします。

心遣いを隅々まで行き届かせるために

Others



コンセント

各座席にコンセントを設置。レジャーやビジネスなどスマートフォンやノートパソコンの充電にご利用いただけます。



車いすスペース

1号車には車いす対応席を2席設置しました。また、ハンドル形電動車いすにも対応しています。



AED

5号車にはAED（自動体外式除細動器）を装備しました。緊急時に対応いたします。



多言語対応

車内LCD画面表示器の行先案内、停車駅案内は、4カ国語（日・英・中・韓）表示に対応し、インバウンドのお客さまも快適にご利用いただけます。

Designers

デザイン監修は
建築家・妹島和世氏が担当。
座席シートやカーテンなどのテキスタイルを
テキスタイルデザイナーの安東陽子氏が、
天井照明をはじめとする
車内の照明を照明家の豊久将三氏が、
デザインコーディネーションと
グラフィックデザインを
建築家の棚瀬純孝氏が担当し、
いままでにないデザインが実現しました。



Photo: Aiko Suzuki

妹島 和世氏
建築家
［デザイン監修］

日本女子大学大学院を修了。1987年に妹島和世建築設計事務所を設立。1995年に西沢立衛氏とともにSANAAを設立。2010年に第12回ベネチアビエンナーレ国際建築展の総合ディレクターを務める。主な受賞として日本建築学会賞*、ベネチアビエンナーレ国際建築展金獅子賞*(イタリア)、プリツカー賞*(アメリカ)、芸術文化勲章オフィシエ(フランス)、紫綬褒章など。現在、横浜国立大学大学院Y-GSA教授、ミラノ工科大学教授、ウィーン応用芸術大学教授、日本女子大学客員教授。(*はSANAAとして)



Photo: Atsushi Nakamichi

安東 陽子氏
テキスタイルデザイナー

株式会社「布」でのクリエイティブスタッフを経て、2011年に個人事務所「安東陽子デザイン」を設立。多くの建築家の設計する公共施設や個人住宅などにテキスタイルを提供。近年は「すみだ北斎美術館」(妹島和世氏設計)、「ぎふメディアコスモス」、「台中国家歌劇院」(いずれも伊東豊雄氏設計)、「太田市美術館・図書館」(平田晃久氏設計)などの建築にテキスタイルを提供した。



豊久 将三氏
照明家

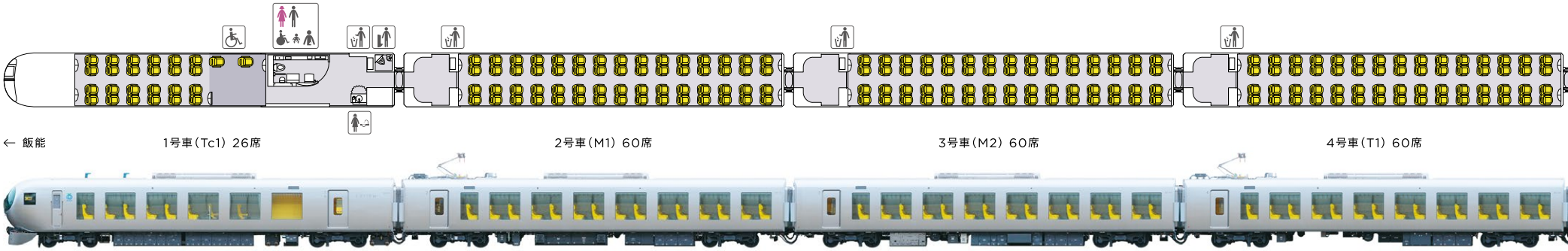
最新のテクノロジーを使った光の設計を主に行う。ニューヨーク近代美術館「Contemporary Japanese Textiles」展における光ファイバーを使用した照明で世界的な評価を得る。東京国立博物館、原美術館、三菱一号館美術館など国内外の美術館の展示照明やアートコレクターの自邸の光の設計を主に、Dior表参道、GUCCI銀座などのファサード照明、ミキモト4丁目本店の店舗照明など、幅広い光の表現活動を行っている。



棚瀬 純孝氏
建築家
［デザインコーディネーション・グラフィックデザイン］

京都工芸繊維大学を修了。1995年より妹島和世建築設計事務所・SANAA事務所所属。2013年よりSANAA事務所パートナー。「ルーブル＝ランス」(フランス・ランス)、「飯田市小笠原資料館」(長野)、「ラ・サマリテーヌ」(フランス・パリ)等、国内外のさまざまなプロジェクトに関わる。

Formation



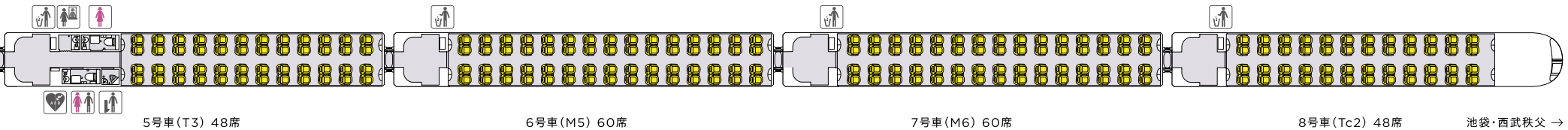
8両合計 422席(内 車いす席2席)

001系　主要諸元表

項　目	仕　様
車　種	全金属製二軸ボギー電動客車 制御客車 付随車(アルミ)
編　成	Tc1 < M1 M2 < T1 T3 < M5 M6 Tc2　8両
自　重	32.8　39.0　38.3　31.5　32.1　39.0　38.3　32.2　合計 283.2 t
運転性能	加速度3.3km/h/s　減速度(常)3.5km/h/s (非)4.5km/h/s 設計最高速度 120km/h
車両寸法 (長×幅×高)	Tc1 Tc2: 20,470×2,814×4,040 M1 T1 M5: 20,000×2,814×4,040 M2 T3 M6: 20,000×2,814×4,040 ボギー中心間距離 13,800mm
台　車	空気ばね式 ボルスタレス 軸ハリ式軸箱支持(輪重調整機構付) 動揺防止装置 両先頭車搭載(中間車は準備工事) 固定軸距2,100mm　M:KW-217M　T:KW-218T

項　目	仕　様
主電動機	全密閉型三相カゴ形誘導電動機　170kw　1,000V　125A　81Hz　5,070rpm
制御装置	電力回生ブレーキ付総括制御自動加減速VVVFインバータ装置
補助電源装置	電源装置: 静止形インバータ(SIV)260KVA×2台　　焼結式アルカリ蓄電池: DC100Ah
戸閉装置	空気式片引側戸装置
表示装置	種別・行先: S-TIMモニタによる一斉指令フルカラー方式 車内: 2画面一体型LCD表示器 乗降口: フルカラーLED表示器
サニタリ装置	Tc1: 多目的トイレ 男性用トイレ 洗面所 T3: 女性専用トイレ 共用トイレ 男性用トイレ パウダールーム
照明装置	室内: LED DC100V 30W　先頭車16灯　中間車28灯　T3・Tc2車22灯　※各車予備灯2灯 荷棚: LED DC100V 27W　先頭車15灯　中間車30灯　T3車24灯　TC2車23灯 乗務室: LED DC100V 2灯(予備灯兼用)
放送装置	高音質仕様(自動放送装置付　BGM機能付)　車外スピーカー付

多目的トイレ handicapped toilet　洋式トイレ 共用 toilet　洋式トイレ 女性用 toilet for ladies　男性用トイレ urinal　パウダールーム powder room　手洗い hand wash　自動体外式除細動器 AED　車いす席 wheel chair seats　ゴミ箱 trash



5号車(T3) 48席　6号車(M5) 60席　7号車(M6) 60席　8号車(Tc2) 48席　池袋・西武秩父 →



西武鉄道株式会社　製作担当会社　株式会社日立製作所


Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。